

◎ 指示があるまで開かないこと。

(令和2年2月16日 9時00分～12時30分)

## 注意事項

1. 試験問題の数は120問で解答時間は正味3時間30分である。
2. 解答方法は次のとおりである。

- (1) (例1)、(例2)及び(例3)の問題では1から4までの4つの選択肢、もしくは1から5までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例1)、(例2)では1つ、(例3)では2つ選び答案用紙に記入すること。
- なお、(例1)、(例2)の質問には2つ以上解答した場合は誤りとする。(例3)の質問には、1つ又は3つ以上解答した場合は誤りとする。

(例1)

201 近代看護の基礎を築いた人物はどれか。

1. アダムズ, J.  
Addams, J.
2. キュリー, M.  
Curie, M.
3. ナイチンゲール, F.  
Nightingale, F.
4. アインシュタイン, A.  
Einstein, A.

正解は「3」であるから答案用紙の③をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

201	①	②	③	④
			↓	
201	①	②	●	④

答案用紙②の場合、

201	201
①	①
②	②
③	→ ●
④	④

れい  
(例 2)

202 ほけんしじょざんしかんごしほう せいてい とし 保健師助産師看護師法が制定された年はどれか。

1. めいじ ねん 明治 32 年 (1899 年)
2. たいしょう ねん 大正 4 年 (1915 年)
3. しょうわ ねん 昭和 23 年 (1948 年)
4. しょうわ ねん 昭和 43 年 (1968 年)
5. へいせい ねん 平成 13 年 (2001 年)

せいかい 正解は「3」であるから とうあんようし 答案用紙の **③** をマークすればよい。

<small>とうあんようし</small> 答案用紙①の場合、					<small>とうあんようし</small> 答案用紙②の場合、		
202	①	②	③	④	⑤	202	①
			↓			①	①
202	①	②	●	④	⑤	②	②
						③	→ ●
						④	④
						⑤	⑤

れい  
(例 3)

203 かんごしせき とうろく 看護師籍に登録されるのはどれか。2つ選べ。

1. せいねんがっぴ 生年月日
2. じゅけんねんがっぴ 受験年月日
3. そつぎょうねんがっぴ 卒業年月日
4. しゅうぎょうねんがっぴ 就業年月日
5. とうろくねんがっぴ 登録年月日

せいかい 正解は「1」と「5」であるから とうあんようし 答案用紙の **①** と **⑤** をマークすればよい。

<small>とうあんようし</small> 答案用紙①の場合、					<small>とうあんようし</small> 答案用紙②の場合、		
203	①	②	③	④	⑤	203	①
			↓			①	●
203	●	②	③	④	●	②	②
						③	→ ③
						④	④
						⑤	●

(2) 計算問題については、に囲まれた丸数字に入る適切な数値をそれぞれ1つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例4)の質問には丸数字1つにつき2つ以上解答した場合は誤りとする。

(例4)

204 50床の病棟で入院患者は45人である。

この病棟の病床利用率を求めよ。

ただし、小数点以下の数値が得られた場合には、小数点以下第1位を四捨五入すること。

解答： ① ② %

- |   |   |
|---|---|
| ① | ② |
| 0 | 0 |
| 1 | 1 |
| 2 | 2 |
| 3 | 3 |
| 4 | 4 |
| 5 | 5 |
| 6 | 6 |
| 7 | 7 |
| 8 | 8 |
| 9 | 9 |

正解は「90」であるから①は答案用紙の(9)を②は(0)をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

①	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(●)
204	(●)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)

答案用紙②の場合、

204	①	②
	(0)	(●)
	(1)	(1)
	(2)	(2)
	(3)	(3)
	(4)	(4)
	(5)	(5)
	(6)	(6)
	(7)	(7)
	(8)	(8)
	(●)	(9)







1 平成29年(2017年)の人口動態統計における主要死因別の死亡率で心疾患の順位

heart disease

はどれか。

1. 1位
2. 2位
3. 3位
4. 4位

2 運動習慣が身体機能にもたらす効果はどれか。

1. 肺活量の減少
2. 耐糖能の低下
3. 免疫力の向上
4. 中性脂肪の増加

3 介護保険の第2号被保険者は、( )歳以上65歳未満の医療保険加入者である。

( )に入る数字はどれか。

1. 30
2. 40
3. 50
4. 60

4 健康保険法による療養の給付の対象はどれか。

1. 手術
2. 健康診査
3. 予防接種
4. 人間ドック

- 5 <sup>だい に じせいちよう はつげん かん よ</sup> 第二次性徴の発現に關与するホルモンはどれか。
1. <sup>こうりによう</sup> 抗利尿ホルモン〈ADH〉
  2. <sup>おうたいけいせい</sup> 黄体形成ホルモン〈LH〉
  3. <sup>ふくこうじょうせん</sup> 副甲状腺ホルモン〈PTH〉
  4. <sup>こうじょうせん しげき</sup> 甲状腺刺激ホルモン〈TSH〉
- 6 <sup>じ きやうてつ しげき</sup> 児の吸啜刺激によって<sup>ぶんびつ こうしん</sup> 分泌が亢進し、<sup>ぶんべんご ぼたい しきやうきん しゆうしよく うなが</sup> 分娩後の母体の子宮筋の収縮を促すのはどれか。
1. オキシトシン
  2. プロラクチン
  3. テストステロン
  4. プロゲステロン
- 7 <sup>へいせい ねん</sup> 平成 29 年(2017 年)の<sup>ねん こくみんせいかつ き そちやう き</sup> 国民生活基礎調査における<sup>へいきん せたいにんずう</sup> 平均世帯人数はどれか。
1. 1.47
  2. 2.47
  3. 3.47
  4. 4.47
- 8 レスパイトケアの<sup>もくてき</sup> 目的はどれか。
1. <sup>かい こしや きやうそく</sup> 介護者の休息
  2. <sup>かい こしや どうし こうりやう</sup> 介護者同士の交流
  3. <sup>かい こしや りやうやう しどう</sup> 介護者への療養指導
  4. <sup>りやうやうしや じ こけつてい しえん</sup> 療養者の自己決定支援



9 死の三徴候に含まれるのはどれか。

1. 筋の弛緩
2. 角膜の混濁
3. 呼吸の停止
4. 呼名反応の消失

10 球関節はどれか。

1. 肩関節
2. 膝関節
3. 下橈尺関節
4. 手根中手関節

11 健康な成人の1回換気量はどれか。

1. 約 150 mL
2. 約 350 mL
3. 約 500 mL
4. 約 1,000 mL

12 脳塞栓症を生じやすい不整脈はどれか。

1. 心室頻拍  
cerebral embolism      arrhythmia  
ventricular tachycardia
2. 心房細動  
atrial fibrillation
3. 心房性期外収縮  
atrial premature contraction
4. 完全房室ブロック  
complete atrioventricular block

13 貧血ひんけつを診断しんだんする際の指標さいしひょうとなる血液検査項目けつえきけんさこうもくはどれか。  
anemia

1. アルブミン<Alb>
2. ヘモグロビン<Hb>
3. フィブリノゲン
4. プロトロンビン時間じかん<PT>

14 医薬品いやくひん、医療機器等いりょうききとうの品質ひんしつ、有効性及び安全性ゆうこうせいおよびあんぜんせいの確保等かくほとうかんに関する法律ほうりつ<医薬品医療機器等法いやくひんいりょうききとうほう>による毒薬どくやくの表示ひょうじ(別冊べっさつNo. 1)を別に示す。

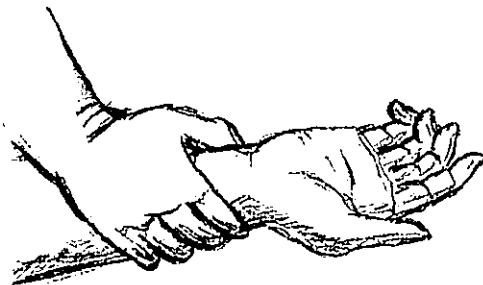
ただ正しいのはどれか。

1. A
2. B
3. C
4. D

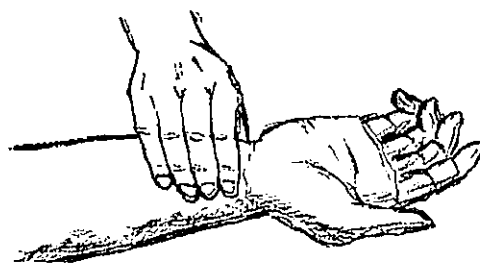
別冊 No. 1
-------------

15 成人の橈骨動脈における脈拍の測定方法で正しいのはどれか。

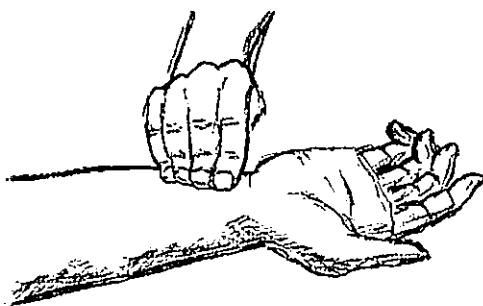
1.



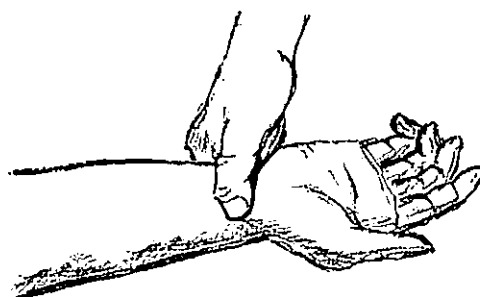
2.



3.



4.



16 誤嚥しやすい患者の食事の援助で適切なのはどれか。

1. 食材は細かく刻む。
2. 水分の摂取を促す。
3. 粘りの強い食品を選ぶ。
4. 頸部を前屈した体位をとる。

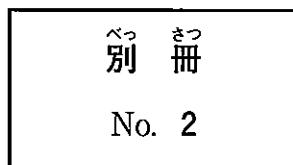
17 陰部洗浄に使用する湯の温度で最も適切なのはどれか。

1. 30～31℃
2. 34～35℃
3. 38～39℃
4. 42～43℃

- 18 滅菌物の取り扱いで正しいのはどれか。
1. 鉗子の先端は水平より高く保つ。
  2. 鑷子の先端を閉じた状態で取り出す。
  3. 滅菌パックはハサミを用いて開封する。
  4. 滅菌包みは布の内側の端を手でつまんで開く。
- 19 直流除細動器の使用目的はどれか。
1. 血圧の上昇
  2. 呼吸の促進
  3. 洞調律の回復
  4. 意識レベルの回復
- 20 経鼻経管栄養法を受ける成人患者の体位で適切なのはどれか。
1. 碎石位
  2. 半坐位
  3. 腹臥位
  4. Sims(シムス)位
- 21 胃がんの Virchow(ウイルヒョウ)転移が生じる部位はどれか。
1. 腋窩
  2. 鼠径部
  3. 右季肋部
  4. 左鎖骨上窩

22 包帯ほうたいの巻き方まかた(別冊べっさつNo. 2)を別べつに示しめす。  
環行帯かんこうたいの巻き方まかたで正しいただのはどれか。

1. A
2. B
3. C
4. D



23 皮下注射ひかちゅうしゃで適切てきせつなのはどれか。

1. 注射部位ちゅうしゃぶいを伸展しんてんする。
2. 注射針ちゅうしゃしんは18～20 G を使用しようする。
3. 針はりの刺入角度しじゅうかくどは45～90 度どにする。
4. 皮下脂肪ひかしぼうが5 mm 以上いじょうの部位ぶいを選択せんたくする。

24 細菌感染さいきんかんせんによる急性炎症きゅうせいえんしゅうで最初さいしょに反応はんのうする白血球はっけつきゅうはどれか。

1. 単球たんきゅう
2. 好酸球こうさんきゅう
3. 好中球こうちゅうきゅう
4. 好塩基球こうえんききゅう
5. リンパ球きゅう

25 平成<sup>へいせい</sup>28年<sup>ねん</sup>(2016年<sup>ねん</sup>)の国民生活基礎調査<sup>こくみんせいかつきそちようさ</sup>で、男性<sup>だんせい</sup>の有訴者<sup>ゆうそしゃ</sup>の症状<sup>しょうじょう</sup>が最も<sup>もっと</sup>多い<sup>おお</sup>のはどれか。

1. 腰<sup>よう</sup>痛<sup>つう</sup>
2. もの<sup>わす</sup>忘れ
3. 体<sup>からだ</sup>がだるい
4. 目<sup>め</sup>のかすみ
5. 手足<sup>てあし</sup>の関節<sup>かんせつ</sup>が痛<sup>いた</sup>む

26 固有<sup>こゆう</sup>心筋<sup>しんきん</sup>の特徴<sup>とくちゆう</sup>はどれか。

1. 平滑<sup>へいかつ</sup>筋<sup>きん</sup>である。
2. 骨格<sup>こつかく</sup>筋<sup>きん</sup>よりも不応<sup>ふおう</sup>期<sup>き</sup>が短<sup>みじか</sup>い。
3. 活動<sup>かつどう</sup>電位<sup>でんい</sup>にプラト<sup>そら</sup>ー相<sup>そう</sup>がみられる。
4. 筋層<sup>きんそう</sup>は右心室<sup>うしんしつ</sup>の方が左心室<sup>さしんしつ</sup>より厚<sup>あつ</sup>い。

27 小細胞<sup>しょうさい</sup>癌<sup>ぼうがん</sup>で正しい<sup>ただ</sup>のはどれか。

- small cell carcinoma
1. 患者<sup>かんじや</sup>数は非小細胞<sup>ひしょうさいぼうがん</sup>癌<sup>おお</sup>より多い。
  2. 肺末梢<sup>はいまつしようそく</sup>側に発生<sup>non-small cell carcinoma</sup>しやすい。<sup>はっせい</sup>
  3. 悪性<sup>あくせい</sup>度の低い<sup>ひく</sup>癌<sup>がん</sup>である。
  4. 治療<sup>ちりよう</sup>は化学療法<sup>かがくりようほう</sup>を行う。<sup>おこな</sup>

28 脑梗塞<sup>のうこうそく</sup>を最も<sup>もっと</sup>早期<sup>そうき</sup>に検出<sup>けんしゆつ</sup>できる画像<sup>がぞう</sup>検査<sup>けんさ</sup>はどれか。  
cerebral infarction

1. シンチグラフィ
2. 磁気共鳴<sup>じききうめい</sup>画像<sup>がぞう</sup>(MRI)
3. 磁気共鳴血管<sup>じききうめいけつかん</sup>画像<sup>がぞう</sup>(MRA)
4. コンピュータ断層<sup>だんそうきつえい</sup>撮影<sup>さつえい</sup>(CT)

29 公費医療と法の組合せで正しいのはどれか。

1. 未熟児の養育医療 ————— 医療法
2. 結核児童の療養給付 ————— 児童福祉法
3. 麻薬中毒者の措置入院 ————— 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律  
〈精神保健福祉法〉
4. 定期予防接種による健康被害の救済措置 ————— 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律〈感染症法〉

30 廃棄する物とその区分との組合せで正しいのはどれか。

1. 滅菌パックの袋 ————— 産業廃棄物
2. エックス線フィルム ————— 一般廃棄物
3. 血液の付着したメスの刃 ————— 感染性産業廃棄物
4. pH 12.5 以上のアルカリ性の廃液 ————— 感染性一般廃棄物

31 患者と看護師の間の専門的な援助関係で適切なのはどれか。

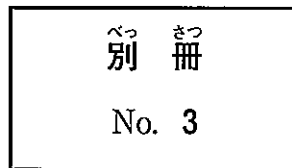
1. 自然発生的に成立する。
2. 援助方法は看護師に一任される。
3. 患者のニーズに焦点がおかれる。
4. 日常的な会話を中心に展開する。

32 細菌の芽胞を死滅させるのはどれか。

1. 紫外線
2. ポビドンヨード
3. 70% アルコール
4. 酸化エチレンガス

- 33 クロストリジウム・ディフィシレ(ディフィシル)による下痢を<sup>げり</sup>発症<sup>はっしょう</sup>している患者<sup>かんじゃ</sup>  
*Clostridium difficile*  
の<sup>いんぶせんじょう</sup>陰部洗<sup>じょう</sup>浄<sup>おこな</sup>を<sup>さい</sup>ベッ<sup>こじんぼう</sup>ド<sup>こぐ</sup>上<sup>ちやくよう</sup>で行<sup>かんごし</sup>う<sup>しゃしん</sup>際<sup>べっさつ</sup>の<sup>べつ</sup>個人防<sup>しめ</sup>護<sup>しめ</sup>具<sup>しめ</sup>を<sup>しめ</sup>着<sup>しめ</sup>用<sup>しめ</sup>した<sup>しめ</sup>看護<sup>しめ</sup>師<sup>しめ</sup>の<sup>しめ</sup>写<sup>しめ</sup>真<sup>しめ</sup>(<sup>しめ</sup>別<sup>しめ</sup>冊<sup>しめ</sup>No. 3)  
を<sup>しめ</sup>別<sup>しめ</sup>に<sup>しめ</sup>示<sup>しめ</sup>す。  
<sup>てきせつ</sup>適<sup>しめ</sup>切<sup>しめ</sup>な<sup>しめ</sup>の<sup>しめ</sup>は<sup>しめ</sup>ど<sup>しめ</sup>れ<sup>しめ</sup>か。

1. A
2. B
3. C
4. D



- 34 インシデントレポートで<sup>てきせつ</sup>適<sup>しめ</sup>切<sup>しめ</sup>な<sup>しめ</sup>の<sup>しめ</sup>は<sup>しめ</sup>ど<sup>しめ</sup>れ<sup>しめ</sup>か。
1. <sup>せきんついきゅう</sup>責<sup>しよう</sup>任<sup>しよう</sup>追<sup>しよう</sup>及<sup>しよう</sup>の<sup>しよう</sup>た<sup>しよう</sup>め<sup>しよう</sup>に<sup>しよう</sup>は<sup>しよう</sup>使<sup>しよう</sup>用<sup>しよう</sup>さ<sup>しよう</sup>れ<sup>しよう</sup>な<sup>しよう</sup>い。
  2. インシデントの<sup>はっせい</sup>発<sup>げつ</sup>生<sup>ご</sup>から<sup>ていしつ</sup>1<sup>ていしつ</sup>か<sup>ていしつ</sup>月<sup>ていしつ</sup>後<sup>ていしつ</sup>に<sup>ていしつ</sup>提<sup>ていしつ</sup>出<sup>ていしつ</sup>す<sup>ていしつ</sup>る。
  3. <sup>おも</sup>主<sup>きじつないよう</sup>な<sup>さいはつぼうしざく</sup>記<sup>さいはつぼうしざく</sup>述<sup>さいはつぼうしざく</sup>内<sup>さいはつぼうしざく</sup>容<sup>さいはつぼうしざく</sup>は<sup>さいはつぼうしざく</sup>イン<sup>さいはつぼうしざく</sup>シ<sup>さいはつぼうしざく</sup>デ<sup>さいはつぼうしざく</sup>ン<sup>さいはつぼうしざく</sup>ト<sup>さいはつぼうしざく</sup>の<sup>さいはつぼうしざく</sup>再<sup>さいはつぼうしざく</sup>発<sup>さいはつぼうしざく</sup>防<sup>さいはつぼうしざく</sup>止<sup>さいはつぼうしざく</sup>策<sup>さいはつぼうしざく</sup>で<sup>さいはつぼうしざく</sup>あ<sup>さいはつぼうしざく</sup>る。
  4. <sup>じっしまえ</sup>実<sup>はっけん</sup>施<sup>はっけん</sup>前<sup>はっけん</sup>に<sup>はっけん</sup>発<sup>はっけん</sup>見<sup>はっけん</sup>さ<sup>はっけん</sup>れ<sup>はっけん</sup>た<sup>はっけん</sup>イン<sup>はっけん</sup>シ<sup>はっけん</sup>デ<sup>はっけん</sup>ン<sup>はっけん</sup>ト<sup>はっけん</sup>の<sup>はっけん</sup>報<sup>ほうこく</sup>告<sup>ほうこく</sup>は<sup>ほうこく</sup>不<sup>ほうこく</sup>要<sup>ほうこく</sup>で<sup>ほうこく</sup>あ<sup>ほうこく</sup>る。

- 35 成人の<sup>せいじん</sup>睡<sup>すい</sup>眠<sup>みん</sup>で<sup>ただ</sup>正<sup>ただ</sup>しい<sup>ただ</sup>の<sup>ただ</sup>は<sup>ただ</sup>ど<sup>ただ</sup>れ<sup>ただ</sup>か。
1. <sup>すいみんちゅう</sup>レ<sup>こつかくきん</sup>ム<sup>しかん</sup>睡<sup>しかん</sup>眠<sup>しかん</sup>中<sup>しかん</sup>は<sup>しかん</sup>骨<sup>しかん</sup>格<sup>しかん</sup>筋<sup>しかん</sup>が<sup>しかん</sup>弛<sup>しかん</sup>緩<sup>しかん</sup>す<sup>しかん</sup>る。
  2. <sup>にゅうみんまえ</sup>入<sup>きつえん</sup>眠<sup>すい</sup>前<sup>みん</sup>の<sup>すい</sup>喫<sup>すい</sup>煙<sup>みん</sup>は<sup>すい</sup>睡<sup>すい</sup>眠<sup>みん</sup>導<sup>すい</sup>入<sup>みん</sup>時<sup>すい</sup>間<sup>みん</sup>を<sup>すい</sup>短<sup>すい</sup>く<sup>すい</sup>す<sup>すい</sup>る。
  3. ノンレム<sup>すいみんちゅう</sup>睡<sup>すい</sup>眠<sup>みん</sup>中<sup>すい</sup>は<sup>すい</sup>エ<sup>すい</sup>ネ<sup>すい</sup>ル<sup>すい</sup>ギ<sup>すい</sup>ー<sup>すい</sup>代<sup>すい</sup>謝<sup>すい</sup>が<sup>すい</sup>充<sup>すい</sup>進<sup>すい</sup>す<sup>すい</sup>る。
  4. <sup>すいみんしゅう</sup>睡<sup>おん</sup>眠<sup>すい</sup>周<sup>すい</sup>期<sup>すい</sup>は<sup>すい</sup>90<sup>すい</sup>分<sup>すい</sup>の<sup>すい</sup>レ<sup>すい</sup>ム<sup>すい</sup>睡<sup>すい</sup>眠<sup>すい</sup>と<sup>すい</sup>数<sup>すい</sup>分<sup>すい</sup>の<sup>すい</sup>ノ<sup>すい</sup>ン<sup>すい</sup>レ<sup>すい</sup>ム<sup>すい</sup>睡<sup>すい</sup>眠<sup>すい</sup>を<sup>すい</sup>繰<sup>すい</sup>り<sup>すい</sup>返<sup>すい</sup>す。



36 <sup>かた ま ひ</sup>片麻痺のある<sup>せいじん</sup>成人の<sup>がしやうかんじや</sup>臥床患者の<sup>かんそく</sup>患側の<sup>りやうし い</sup>良肢位で<sup>てきせつ</sup>適切なのはどれか。

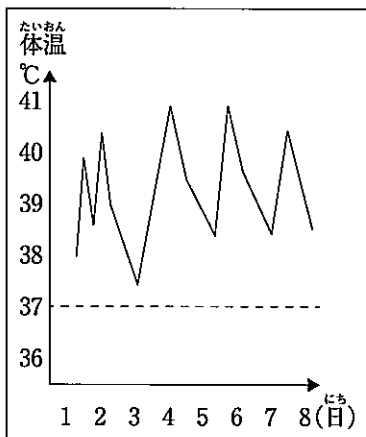
1. <sup>かたかんせつ</sup>肩関節は<sup>ないてん</sup>内転<sup>ど</sup>10度
2. <sup>ちやうかんせつ</sup>肘関節は<sup>くつきよく</sup>屈曲<sup>ど</sup>10度
3. <sup>こかんせつ</sup>股関節は<sup>がいてん</sup>外転<sup>ど</sup>10度
4. <sup>そくかんせつ</sup>足関節は<sup>はいくつ</sup>背屈<sup>ど</sup>10度

37 <sup>しき</sup>クリップ式の<sup>もち</sup>プローブを用いて<sup>しゆし</sup>手指で<sup>けい ひ てきどうみやくけつさん</sup>経皮的動脈血酸素飽和度<sup>そほうわ ど</sup>(SpO<sub>2</sub>)を<sup>そくてい</sup>測定する<sup>ほうほう</sup>方法で<sup>てきせつ</sup>適切なのはどれか。

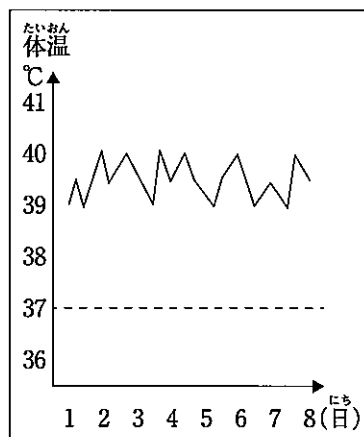
1. <sup>おな</sup>同じ<sup>ゆび</sup>指で<sup>じかんれんぞく</sup>24時間連続で<sup>そくてい</sup>測定する。
2. マニキュアをしたままで<sup>そくてい</sup>測定する。
3. <sup>そうちやくぶ</sup>装着部位に<sup>れいかん</sup>冷感がある場合は<sup>ぼあい</sup>温める<sup>あたた</sup>。
4. <sup>ゆび</sup>指を<sup>はさ</sup>挟んだ<sup>はいくつ</sup>プローブは<sup>こてい</sup>テープで固定する。

38 <sup>ねっけい</sup>熱型を<sup>ず</sup>図に<sup>しめ</sup>示す。

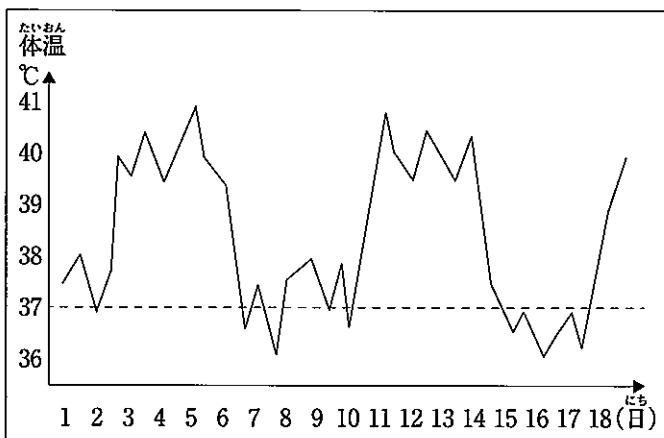
A



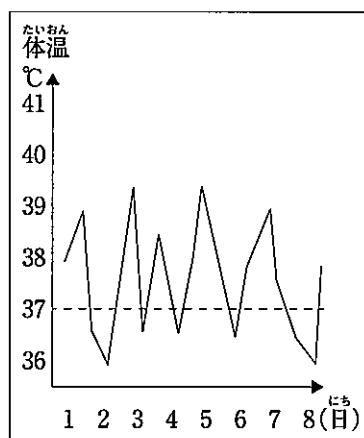
B



C



D



<sup>ねっけい</sup>熱型の<sup>しゅるい</sup>種類と<sup>ず</sup>図の<sup>くみあ</sup>組合せで<sup>ただ</sup>正しいのはどれか。

1. <sup>かんけつねつ</sup>間欠熱 ————— A
2. <sup>けいりゅうねつ</sup>稽留熱 ————— B
3. <sup>しちょうねつ</sup>弛張熱 ————— C
4. <sup>はじょうねつ</sup>波状熱 ————— D

39 薬の内服方法における頓用で正しいのはどれか。

1. 週に1回服用する。
2. 食事の前に服用する。
3. 指定された時間に服用する。
4. 症状が現れたときに服用する。

40 壮年期の身体的特徴で正しいのはどれか。

1. 運動耐久力の向上
2. 明暗順応の低下
3. 持久力の向上
4. 臓器の萎縮

41 急性期患者の生体反応で正しいのはどれか。

1. 異化が亢進する。
2. 症状の変化は緩やかである。
3. サイトカイン分泌が低下する。
4. 副腎皮質ホルモンの分泌が低下する。

42 碎石位による手術で起こりやすい合併症はどれか。

1. 猿手
2. 尖足
3. 下垂手
4. 腸骨部の褥瘡

43 ペースメーカー<sup>うえこ</sup>植込みの有無<sup>うむ</sup>を事前<sup>じぜん</sup>に確認<sup>かくにん</sup>すべき検査<sup>けんさ</sup>はどれか。

1. 超音波検査<sup>ちゆうおん ば けん さ</sup>
2. エックス線撮影<sup>せんさつえい</sup>
3. 骨シンチグラフィ<sup>こつ</sup>
4. 磁気共鳴画像(MRI)<sup>じ き きょうめい が ぞう</sup>

44 肝動脈塞栓術(TAE)<sup>かんどうみやくそくせんじゆつ</sup>の適応<sup>てきおう</sup>となる疾患<sup>しつかん</sup>はどれか。

1. 脂肪肝<sup>し ぼうかん</sup>  
fatty liver
2. 急性A型肝炎<sup>きゆうせい がたかんえん</sup>  
acute hepatitis A
3. 肝細胞癌(HCC)<sup>かんさいぼうがん</sup>  
hepatocellular carcinoma
4. アメーバ性肝膿瘍<sup>せいがんのうよう</sup>  
amoebic abscess of the liver

45 ヒト免疫不全ウイルス(HIV)<sup>めんえき ふ ぜん</sup>に感染<sup>かんせん</sup>している患者<sup>かんじゃ</sup>で、後天性免疫不全症候群<sup>こうてんせいめんえき ふ ぜんしやうこうぐん</sup>  
(AIDS)<sup>じやうたい</sup>の状態<sup>はんだん</sup>にあると判断<sup>しつかん</sup>できる疾患<sup>しつかん</sup>はどれか。

1. 季節性インフルエンザ<sup>き せつせい</sup>  
seasonal influenza
2. ニューモシスチス肺炎<sup>はいえん</sup>  
pneumocystis pneumonia
3. ノロウイルス性腸炎<sup>せいちやうえん</sup>  
norovirus enteritis
4. 単純性膀胱炎<sup>たんじゆんせいぼうこうえん</sup>  
uncomplicated cystitis

46 細菌性髄膜炎<sup>さいきんせいずいまくえん</sup>の症状<sup>しやうじやう</sup>はどれか。  
bacterial meningitis

1. 羞明<sup>しやうめい</sup>
2. 羽ばたき振戦<sup>は しんせん</sup>
3. Raynaud(レイノー)現象<sup>げんしやう</sup>
4. Blumberg(ブルンベルグ)徴候<sup>ちやうこう</sup>

47 貧血ひんけつを伴ともなう患者かんじゃの爪つめの写真しゃしん(別冊べっさつNo. 4)を別べつに示しめす。  
anemia  
欠乏けつぼうしている栄養素えいようそはどれか。

1. ビタミン B<sub>12</sub>
2. ビタミン C
3. 葉酸ようさん
4. 鉄てつ

別冊 No. 4
-------------

48 手術後しゅじゅつごに無排卵むはいらんになるのはどれか。

1. 脳下垂体全摘出術のうかすいたいぜんてきしゅつじゅつ
2. 単純子宮摘出術たんじゆんしきうてきしゅつじゅつ
3. 低位前方切除術ていゐぜんぼうせつじょじゅつ
4. 片側卵巢切除術へんそくらんそうせつじょじゅつ

49 被験者ひけんしゃが図形ずけいを描き写す内容かうつが含まれる認知機能ないようふくの評価にんちきのうひようかはどれか。

1. 認知症高齢者の日常生活自立度判定基準にんちしやうこうれいしやにちじゆせいかつじりつどはんていきじゆん
2. Mini-Mental State Examination (MMSE)
3. 高齢者の総合機能評価 CGA 簡易版 (CGA 7)  
こうれいしや そうごうきのうひようか かんいばん
4. 改訂長谷川式簡易知能評価スケール (HDS-R)  
かいていはせがわしきかんいちのうひようか

50 老化による免疫機能の変化はどれか。

1. 胸腺の肥大
2. T細胞の増加
3. 獲得免疫の反応の低下
4. 炎症性サイトカインの産生の減少

51 高齢者の性について正しいのはどれか。

1. 女性の性交痛は起こりにくくなる。
2. 男性は性ホルモンの分泌量が保たれる。
3. 高齢になると異性に対する羞恥心は減退する。
4. セクシュアリティの尊重はQOLの維持に影響する。

52 老化による身体機能の変化と薬物動態への影響との組合せで正しいのはどれか。

1. 血中蛋白の低下 ————— 薬効の減少
2. 腎血流量の低下 ————— 薬効の減少
3. 肝血流量の低下 ————— 薬効の増大
4. 消化機能の低下 ————— 薬効の増大

53 軽度認知障害で正しいのはどれか。

- mild neurocognitive disorder
1. 一過性の障害である。
  2. 実行機能障害がある。
  3. 物忘れを自覚している。
  4. 日常生活動作<ADL>が障害される。

54 認知症dementiaが疑うたがわれる人ひとや認知症dementiaの人ひとおよびその家族かぞくを訪問ほうもんし、複数ふくすうの専門職せんもんしよくでアセスメントや自立生活じりつせいかつの支援しえんを行うのはどれか。

1. 成年後見人せいねんこうけんじん
2. 介護認定審査会かいごにんていしんさかい
3. 認知症対応型通所介護にんちしょうたいおうがたつうしょかいご
4. 認知症初期集中支援チームにんちしょうしよきしゅうちゅうしえん

55 日本で用いている DENVER II (デンバー発達判定法はったつはんていほう)で6か月児げつじの90%ができるのはどれか。

1. 寝返りねがえをする。
2. 積み木つみぎをもちかえる。
3. 喃語様なんごようのおしゃべりをする。
4. 自分で食べ物じぶんたべものを口くちへもっていく。

56 幼児ようじを対象たいしょうとする定期予防接種ていきよぼうせつしゅはどれか。

1. DT ワクチン(にしゅこんごう)
2. ロタウイルスワクチン
3. BCG ワクチン
4. 水痘すいとうワクチン

57 大泉門だいせんもんの説明せつめいで正しいただのはどれか。

1. 2歳さいまで増大ぞうだいする。
2. 陥没かんぼつしている場合ばあいは髄膜炎ずいまくえんを疑ううたが。
3. 閉鎖へいさが早はやすぎる場合ばあいは小頭症しょうとうしよくを疑ううたが。
4. 頭頂骨とうちやうこつと後頭骨こうとうこつに囲かこまれた部分ぶぶんである。

58 幼児の心肺蘇生における胸骨圧迫の方法で正しいのはどれか。

1. 胸骨中央下部を圧迫する。
2. 実施者の示指と中指とで行う。
3. 1分間に60回を目安に行う。
4. 1回の人工呼吸につき3回行う。

59 配偶子の形成で正しいのはどれか。

1. 卵子の形成では減数分裂が起こる。
2. 精子の形成では極体の放出が起こる。
3. 成熟卵子はXまたはY染色体をもつ。
4. 精子は23本の常染色体と1本の性染色体をもつ。

60 女子の思春期の特徴で正しいのはどれか。

1. 9歳で初経が発来する。
2. 月経開始後に身長が発育が加速する。
3. 陰毛が発生した後に乳房が発育が始まる。
4. 性腺刺激ホルモン放出ホルモン(GnRH)によって月経が開始する。

61 妊娠37週の妊婦の胎児心拍数陣痛図の所見で正常なのはどれか。

1. 胎児心拍数基線が110~160 bpmである。
2. 胎児心拍数基線細変動を認めない。
3. 一過性頻脈を認めない。
4. 一過性徐脈を認める。



62 子宮復古状態を観察する手順で正しいのはどれか。

1. 観察は排尿前に行く。
2. 褥婦には Fowler〈ファウラー〉位をとってもらう。
3. 褥婦の膝を伸展させて子宮底の高さを測定する。
4. 子宮底長は恥骨結合下縁から測定する。

63 正常に経過している妊娠 36 週の妊婦が、次に妊婦健康診査を受診する時期として推奨されるのはどれか。

1. 4 週後
2. 3 週後
3. 2 週後
4. 1 週後

64 災害派遣精神医療チーム〈DPAT〉で正しいのはどれか。

1. 厚生労働省が組織する。
2. 被災地域の精神科医療機関と連携する。
3. 発災 1 か月後に最初のチームを派遣する。
4. 派遣チームの食事は被災自治体が用意する。

65 平成 16 年(2004 年)に示された精神保健医療福祉の改革ビジョンの内容で正しいのはどれか。

1. 地域生活支援の強化
2. 任意入院制度の新設
3. 医療保護入院の明確化
4. 精神障害者の定義の見直し

66 Aさん(25歳、男性)は、統合失調症と診断された。抗精神病薬の内服を開始した2日後、Aさんはそわそわして落ち着かず「足がムズムズする」と歩き回るようになった。

Aさんにみられている状態はどれか。

1. アカシジア
2. ジストニア
3. ジスキネジア
4. ミオクローヌス

67 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(精神保健福祉法)に定められている隔離について正しいのはどれか。

1. 隔離の理由は解除する時に患者に説明する。
2. 開始した日時とその理由を診療録に記載する。
3. 隔離室には同時に2人の患者まで入室可能である。
4. 行動制限最小化委員会で開始の必要性を判断する。

68 Aさん(82歳、女性)は、要支援2である。

Aさんの屋内での転倒予防と自立の促進のため、自宅で介護する家族への指導で適切なものはどれか。

1. 車椅子での移動とする。
2. 移動時にスリッパを使用する。
3. 手すりがない場所での歩行を避ける。
4. 移動の前に立ちくらの有無を確認する。

69 Aさん(68歳、男性)は、筋萎縮性側索硬化症(ALS)のため在宅療養中で、気管切開下で人工呼吸器を使用し、要介護5の認定を受けている。

Aさんに提供される訪問看護で適切なものはどれか。

1. 医療保険から給付される。
2. 特別訪問看護指示書を受けて実施される。
3. 複数の訪問看護事業所の利用はできない。
4. 理学療法士による訪問は給付が認められない。

70 Aさん(85歳、女性)は、要支援1で介護予防通所リハビリテーションを月2回利用している。Aさんから「最近排便が3～4日に1回しかなくて、お腹が張って困っている」と通所施設の看護師に相談があった。

看護師が行うAさんへの便秘に対する助言で適切なものはどれか。

1. 毎日、朝食後に便座に座る。
2. 就寝前に水を500 mL飲む。
3. 1日1万歩を目標に歩く。
4. 蛋白質を多めに摂る。

71 Aさん(88歳、男性)は、長女(60歳、無職)と2人暮らし。障害高齢者の日常生活自立度判定基準ランクC2。仙骨部の褥瘡の治療のため、膀胱留置カテーテルを挿入することになった。

膀胱留置カテーテルを挿入中のAさんを介護する長女に対して、訪問看護師が指導する内容で適切なものはどれか。

1. 「褥瘡が治癒するまでおしりは洗淨しないでください」
2. 「体位変換ごとに蓄尿バッグを空にしてください」
3. 「カテーテルは太ももに固定してください」
4. 「尿に浮遊物がないか確認してください」

72 平成28年(2016年)の介護サービス施設・事業所調査における要介護度別利用者数の構成割合で、要介護5の利用者が最も多いのはどれか。

1. 訪問介護
2. 訪問看護
3. 居宅介護支援
4. 訪問入浴介護

73 医療法における医療計画で正しいのはどれか。

1. 国が策定する。
2. 在宅医療が含まれる。
3. 3年ごとに見直される。
4. 病床の整備は含まれない。

74 災害対策基本法に定められている内容で正しいのはどれか。

1. 物資の備蓄
2. 避難所の設置
3. 災害障害見舞金の支給
4. 救護班による医療の提供

75 2015年の経済協力開発機構(OECD)の報告書の日本に関する記述で正しいのはどれか。

1. 喫煙率が最も低い。
2. 高齢化率が最も高い。
3. 人口千人当たりの病床数が最も少ない。
4. 国内総生産(GDP)に対する医療費の割合が最も高い。

76 眼球がんきゅうに入る光はい ひかりの量りょうを調節ちようせつするのはどれか。

1. 角かく 膜まく
2. 虹こう 彩さい
3. 瞳どう 孔こう
4. 水晶体すいしゅうたい
5. 毛様体もうようたい

77 最終代謝産物さいしゅうたいしやさんぶつに尿酸にようざんがふく含まれるのはどれか。

1. 核かく 酸さん
2. リンしん 脂質しじつ
3. 中性脂肪ちゆうせいしぼう
4. グルコース
5. コレステロール

78 排尿時はいにようじに収縮しゆうしゆくするのはどれか。

1. 尿によう 管かん
2. 尿によう 道どう
3. 膀胱平滑筋ぼうこうへいかつきん
4. 内尿道括約筋ないにようどうかつやくきん
5. 外尿道括約筋がいにようどうかつやくきん

79 重症筋無力症で正しいのはどれか。  
myasthenia gravis

1. 男性に多い。
2. 心肥大を生じる。
3. 朝に症状が強くなる。
4. 自己免疫疾患である。
5. 70歳以上に好発する。

80 成人の気管内吸引の方法で適切なのはどれか。

1. 実施前に咽頭部の分泌物を吸引する。
2. 吸引圧は -40 kPa (300 mmHg) に調整する。
3. 気管チューブと同じ内径のカテーテルを用いる。
4. カテーテルの挿入開始から終了まで 30 秒で行う。
5. カテーテルは気管分岐部より深い位置まで挿入する。

81 交感神経の作用はどれか。2つ選べ。

1. 散瞳
2. 精神性発汗
3. 腸蠕動の促進
4. 排尿筋の収縮
5. グリコーゲン合成の促進

82 気管きかんで正しいのはどれか。2つ選えらべ。

1. 軟骨なんこつは筒状つつじょうである。
2. 胸骨角きょうこつかくの高たかさで分岐ぶんきする。
3. 交感神経こうかんしんけいの働はたらきで収縮しゅうしゆくする。
4. 吸息相きゅうそくそうの気管内きかんない圧あつは陰圧いんあつである。
5. 頸部けいぶでは食道しょくどうの背側はいそくに位置いする。

83 食道癌しょくどうがんで正しいのはどれか。2つ選えらべ。  
esophageal cancer

1. 女性じょせいに多おほい。
2. 日本にほんでは腺癌せんがんが多おほい。
3. 放射線感受性ほうしやせんかんじゆせいは低ひくい。
4. 飲酒いんしゆは危険因子きけんいんしである。
5. 胸部中部きょうぶちゅうぶ食道しょくどうに好発こうはつする。

84 急性膵炎きゅうせいすいえんで正しいのはどれか。2つ選えらべ。  
acute pancreatitis

1. 成因せいはアルコール性たんせきせいより胆石性おほが多おほい。
2. 重症度判定じゅうじょうどはんていには造影ぞうえい CT が重要じゅうじょうである。
3. 血中アミラーゼ値けつちゅうが低ち下ていかする。
4. 鎮痛薬ちんつうやくの投与とうよは禁忌きんきである。
5. 初発症状しょはつしょうじょうは上腹部痛じょうふくおつうである。

85 もやもや病<sup>びょう</sup>で正しいのはどれか。2つ選<sup>ただ</sup>べ。  
moyamoya disease

1. 指定難病<sup>ししていなんびょう</sup>ではない。
2. 遺伝的<sup>いでんてきやういん</sup>要因<sup>かんよ</sup>が関与<sup>かん</sup>する。
3. 病変<sup>びょうへん</sup>はくも膜下腔<sup>まくかこう</sup>にある。
4. 進行性<sup>しんこうせい</sup>の脳血管閉塞症<sup>のうけっかんへいそくしやう</sup>である。  
cerebrovascular occlusion
5. ウイルス感染<sup>かんせん</sup>によって誘発<sup>ゆうはつ</sup>される。

86 地域<sup>ちいき</sup>における医療<sup>いりやう</sup>及び介護<sup>かいご</sup>の総合的<sup>そうごうてき</sup>な確保<sup>かくほ</sup>を推進<sup>すいしん</sup>するための関係法律<sup>かんけいほうりつ</sup>の整備等<sup>せいびとう</sup>に  
関<sup>かん</sup>する法律<sup>ほうりつ</sup>〈医療介護総合確保推進法<sup>いりやうかいごそうごうかくほすいしんほう</sup>〉で推進<sup>すいしん</sup>するのはどれか。2つ選<sup>ふた えら</sup>べ。

1. 子育て世代包括支援センター<sup>こそだ せだいほうかつしえん</sup>
2. 地域包括ケアシステム<sup>ちいきほうかつ</sup>
3. 子どもの医療費<sup>いりやうひ</sup>の助成<sup>じょせい</sup>
4. 地域生活支援事業<sup>ちいきせいかつしえんじぎやう</sup>
5. 地域医療構想<sup>ちいきいりやうこうそう</sup>

87 アルコール依存症<sup>いぞんしやう</sup>の一次<sup>いち</sup>予防<sup>じよぼう</sup>はどれか。2つ選<sup>ふた えら</sup>べ。  
alcohol dependence syndrome

1. 年齢<sup>ねんれい</sup>確認<sup>かくにん</sup>による入手<sup>にやうしゅ</sup>経路<sup>けいり</sup>の制限<sup>せいげん</sup>
2. スクリーニングテストの実施<sup>じっし</sup>
3. 精神科<sup>せいしんか</sup>デイケアへの参加<sup>さんか</sup>
4. 小学生<sup>しょうがくせい</sup>への健康<sup>けんこう</sup>教育<sup>きやういく</sup>
5. 患者会<sup>かんじゃかい</sup>への参加<sup>さんか</sup>



88 医療法で規定されているのはどれか。2つ選べ。

1. 保健所
2. 特定機能病院
3. 地方衛生研究所
4. 市町村保健センター
5. 医療安全支援センター

89 終末期がん患者にみられる悪液質の徴候はどれか。2つ選べ。

1. 末梢神経障害
2. リンパ浮腫
3. がん疼痛
4. 食欲不振
5. 体重減少

90 世界保健機関(WHO)の主要な活動はどれか。2つ選べ。

1. 児童労働の撲滅
2. 保健事業の技術的協力
3. 人類の飢餓からの解放
4. 感染症の撲滅事業の促進
5. 労働者の労働条件の改善

つぎ ぶん よ と こた  
次の文を読み 91～93 の問いに答えよ。

A さん (60 歳、男性、元建設業) は、妻 (57 歳) と 2 人暮らし。2 年前に  
あくせいきょうまくちゅう ひしゅ しんだん  
悪性胸膜中皮腫と診断され、かがくりょうほう う こうか  
化学療法を受けたが効果がみられず、がいらいつういん  
malignant pleural mesothelioma  
た。2 週前から、しゅうまえ きょうつう いきぐる けんたいかん ぞうきょう  
胸痛、息苦しさ、倦怠感が増強したため、しょうじょう  
症状コントロール目的で  
にゅういん  
入院した。

バイタルサイン：たいおん 36.0℃、こきょうすう 24/分、みやくはく ふん けつあつ  
脈拍 92/分、血圧 126/88 mmHg、  
けい ひ てきどうみやくけつさん そほうわ ど  
経皮的動脈血酸素飽和度 (SpO<sub>2</sub>) 86～90 % (room air)。

しんたいしよけん りょうそく か はいや こきょうおん げんじやく  
身体所見：両側下肺野で呼吸音が減弱しており、軽度の副雑音が聴取される。

けつえきしよけん せつけつきょう まん はつけつきょう そうたんぱく  
血液所見：赤血球 370 万/μL、Hb 8.8 g/dL、白血球 6,700/μL、総蛋白 5.2 g/dL、

アルブミン 3.8 g/dL、CRP 1.5 mg/dL。

どうみやくけつえき ぶんせき どうみやくけつ に ざん かたん そぶんあつ  
動脈血液ガス分析 (room air)：pH 7.31、動脈血二酸化炭素分圧 (PaCO<sub>2</sub>) 40 Torr、

どうみやくけつさん そぶんあつ  
動脈血酸素分圧 (PaO<sub>2</sub>) 63 Torr。

きょうぶ せんしゃしん きょうまく ひ こう ろっこつおうかくまくかく どんか ひと はいきよだつ  
胸部エックス線写真：胸膜肥厚と肋骨横隔膜角の鈍化が認められる。肺虚脱なし。

91 A さんのこきょうこんなん げんいん かんが ふた えら  
呼吸困難の原因で考えられるのはどれか。2 つ選べ。

1. きょう すい  
胸 水
2. き きょう  
気 胸  
pneumothorax
3. ひん けつ  
貧 血  
anemia
4. CO<sub>2</sub> ナルコーシス
5. こきょうせい  
呼吸性アルカローシス

92 入院後、症状緩和のためモルヒネの内服と経鼻カニューレによる酸素療法  
2L/分が開始された。経皮的動脈血酸素飽和度(SpO<sub>2</sub>)は95%前後で維持されるよ  
うになったが、Aさんは夜間の息苦しさを訴えている。

Aさんの呼吸困難を緩和するための体位で適切なのはどれか。

1. 半腹臥位
2. 右側臥位
3. 左側臥位
4. セミファウラー位

93 入院後2週、Aさんの身体状態は急激に悪化し、Aさんは「息が吸えない。苦し  
い。何とかしてくれ」と訴え、眉間にしわを寄せて口呼吸をしている。軽度の喘鳴  
がみられ、経皮的動脈血酸素飽和度(SpO<sub>2</sub>)は88~92%(経鼻カニューレによる酸  
素療法2L/分)である。また、頻繁に体位を変えて落ち着きがなく、つじつまが合  
わない訴えと場所の見当識障害もみられる。毎日面会に来ている妻は「どうなって  
しまったのでしょうか。苦しそうでかわいそう」と涙ぐみ、ベッドから離れたとこ  
ろで座っている。

Aさんの妻への看護師の説明で適切なのはどれか。

1. 「Aさんが場所を間違っても否定しないで下さい」
2. 「口腔内吸引をするとAさんの呼吸が楽になります」
3. 「タッチングをするとAさんの安心感につながります」
4. 「Aさんの症状が落ち着くまで自宅で待機して下さい」

つぎ ぶん よ と こた  
次の文を読み 94～96 の問いに答えよ。

A さん(56 歳、男性、会社員)は、デスクワークが多い仕事をしている。40 歳時の  
かいしゃ けんこうしんだん がたとうじょうびょう しんだん しょうかい  
会社の健康診断で 2 型糖尿病と診断され、紹介されたクリニックで血糖降下薬を処方  
type 2 diabetes mellitus  
されて内服を継続していた。50 歳ころから視力の低下と持続性蛋白尿を指摘され、  
じんぞうない か じゅしん しょくじ しどう う  
腎臓内科を受診し食事指導を受けた。しかし、仕事が忙しく食事指導の内容を守れて  
いかなかった。1 年前から、足のしびれが出現するようになった。

94 A さんの現在の状況のアセスメントで適切なのはどれか。

1. 緑内障が疑われる。  
りよくないしょう うたが  
glaucoma
2. 運動療法が必要である。  
うんどうりょうほう ひつよう
3. 糖尿病性神経障害が疑われる。  
とうじょうびょうせいしんけいしょうがい うたが  
diabetic neuropathy
4. 高蛋白質の食事摂取が必要である。  
こうたんぱくしつ しょくじ せつしゆ ひつよう

95 A さんは、3 か月前に末期腎不全の状態<sup>end-stage renal failure</sup>で腎代替療法(血液透析)が必要である  
と腎臓内科の医師から説明された。シャント造設のための入院を予定していたが、  
じんぞうない か い し せつめい ぞうせつ けつえきとうせき ひつよう  
仕事が忙しく延期となっていた。1 週間前から感冒症状があり、体重増加、全身浮  
しごと いそが えん き しゅうまえ かんぼうしょうじょう たいじゅうぞう か ぜんしん ふ  
腫、全身倦怠感、呼吸苦が出現したため、緊急入院となった。透析用のカテーテル  
しゆ ぜんしんけんたいかん こきょうく しゅうげん きんきょうけつえき  
を挿入し、緊急血液透析を行った。

入院時の身体所見：体重 73 kg (1 週間で 4 kg 増加)、血圧 178/105 mmHg。

入院時の検査所見：Hb 9.5 g/dL、血清尿素窒素 72 mg/dL、血清クレアチニン

9.0 mg/dL、血清カリウム 6.8 mEq/L、血清ナトリウム 138.5 mEq/L。

緊急入院時の A さんの胸部エックス線写真(別冊 No. 5)を別に示す。

A さんが緊急血液透析となった病態で正しいのはどれか。

1. 貧血  
ひん けつ  
anemia
2. 心不全  
しん ふ ぜん  
heart failure
3. 低カリウム血症  
てい けつしゅう  
hypokalemia
4. 低ナトリウム血症  
てい けつしゅう  
hyponatremia

96 Aさんは、緊急血液透析によって全身状態が改善した。その後、シャント造設術を受け、週3回の血液透析となり、退院後は職場に近いクリニックで維持血液透析を受けることが決定した。Aさんから、退院後の生活について「仕事に復帰予定ですが、医療費の支払いが心配です」と発言があった。

維持血液透析により身体障害者手帳を取得したAさんが利用できる医療費助成制度はどれか。

1. 医療扶助
2. 自立支援医療
3. 訪問看護療養費
4. 認定疾病に対する医療の給付

つぎ ぶん よ と こた  
次の文を読み 97～99 の問いに答えよ。

A さん(81 歳、男性)は、妻(73 歳)と 2 人暮らし。自宅での ADL は自立し、認知機能に障害はない。

A さんは食欲不振と腹部不快感、微熱を主訴に受診したところ、急性胆嚢炎と診断され、その日のうちに入院した。A さんのバイタルサインは、体温 37.3℃、呼吸数 22/分、脈拍 90/分、血圧 136/84 mmHg。入院後は絶飲食の指示があり、持続点滴静脈内注射と抗菌薬の投与が開始された。トイレ歩行の許可は出ている。

97 A さんの病室環境で適切なものはどれか。

1. 座った時に膝関節が 90 度になる高さにベッドを調整する。
2. 点滴スタンドをベッドに固定する。
3. ポータブルトイレを設置する。
4. 離床センサーを設置する。

98 入院後 2 日、妻が A さんについて「入院してからよく寝ています。時々ここが病院だとわからないようです。話しかけても気づかず、天井を眺めていることもあるし、しゃべり続けることもあります」と看護師に訴えた。A さんのバイタルサインは、体温 36.9℃、呼吸数 20/分、脈拍 88/分、血圧 144/80 mmHg。

A さんの状態で最も考えられるのはどれか。

1. うつ病  
depression
2. せん妄  
delirium
3. ナルコレプシー  
narcolepsy
4. 急性ストレス反応  
急性ストレス反応

99 入院後3週、Aさんは症状が改善し、退院することになった。Aさんは「退院したら孫たちと温泉旅行をして、おいしいものをたくさん食べることが楽しみです。何か気を付けることはありますか」と看護師に話した。

退院時のAさんへの指導で適切なのはどれか。

1. 「上腹部の痛みがあったら受診してください」
2. 「食事内容の制限はありません」
3. 「運動は控えてください」
4. 「入浴しないでください」

つぎ ぶん よ  
次の文を読み 100～102 の問いに答えよ。

A さん(80 歳、男性)は、妻(80 歳)と 2 人暮らし。血管性認知症でパーキンソニズムがみられる。認知症高齢者の日常生活自立度判定基準ランク II b、要介護 2。普段は妻が A さんの身の回りの世話をしているが、妻が入院したため短期入所療養介護のサービスを受けることになった。入所時の A さんは歩行開始困難、加速歩行、すくみ足などの歩行障害がみられた。A さんは「最近、家の中でつまずくことが多くなりました」と入所中の施設の看護師に話した。

100 A さんへの歩行指導で適切なのはどれか。

1. 歩行時の方向転換は素早く行うようにする。
2. 目線を足元に向けて歩くようにする。
3. 足踏みをしてから歩くようにする。
4. 歩行時はすり足で歩くようにする。

101 入所初日の夜、A さんはトイレに行った後、入所者 B さんの部屋に入ったという夜勤者からの申し送りがあった。

A さんへの対応で最も適切なのはどれか。

1. A さんの部屋の前に A さんが認識しやすい目印を掲示する。
2. 夜間は 2 時間ごとに A さんを起こしてトイレに誘導する。
3. 夜間は尿器を使用することを A さんに勧める。
4. A さんと B さんの部屋を入れ替える。



102 Aさんは「もっと<sup>ある</sup>歩けるようになりたい。妻の<sup>つま</sup>負担<sup>ふたん</sup>にならずに<sup>せいかつ</sup>生活できるように  
なりたい」と話<sup>はな</sup>している。

退所<sup>たいしょ</sup>後に Aさんが利用<sup>りよう</sup>する介護<sup>かいご</sup>給付<sup>きゅうふ</sup>におけるサービスで最も<sup>もっと</sup>適切<sup>てきせつ</sup>なのはどれか。

1. 訪問<sup>ほうもん</sup>介護<sup>かいご</sup>
2. 療養<sup>りょうよう</sup>通所<sup>つうしょ</sup>介護<sup>かいご</sup>
3. 通所<sup>つうしょ</sup>リハビリテーション
4. 認知<sup>にんち</sup>症<sup>しょう</sup>対応<sup>たいおう</sup>型<sup>がた</sup>共同<sup>きょうどう</sup>生活<sup>せいかつ</sup>介護<sup>かいご</sup>〈認知<sup>にんち</sup>症<sup>しょう</sup>高齢<sup>こうれい</sup>者<sup>しゃ</sup>グループホーム〉

つぎ ぶん よ と こた  
次の文を読み 103～105 の問いに答えよ。

A 君(8 歳、男児、小学 3 年生)は、父親(40 歳、会社員)と母親(38 歳、主婦)との 3  
人暮らし。多飲と夜尿を主訴に小児科を受診した。尿糖 4 + のため、1 型糖尿病の疑  
いで病院に紹介され、精密検査を目的に入院した。A 君は身長 123 cm、体重 27.5 kg  
(1 か月前の体重は 29.5 kg)。入院時のバイタルサインは、体温 36.9℃、脈拍 100/分、  
血圧 98/42 mmHg。随時血糖 300 mg/dL、HbA1c 9.3%、抗グルタミン酸デカルボ  
キシラーゼ(GAD)抗体陽性。尿糖 4 +、尿ケトン体 3 +。血液ガス分析 pH 7.02 で  
あった。

103 入院時に確認する症状はどれか。2 つ選べ。

1. 咳 嗽
2. 腹 痛
3. 浮 腫
4. 発 疹
5. 意識レベル

104 入院後、インスリンの持続点滴静脈内注射が開始された。入院後3日に血糖値が安定し、インスリンの持続点滴静脈内注射が中止された。ペン型注射器によるインスリン療法が開始され、看護師は母親とA君に自己血糖測定とインスリン自己注射について説明した。A君は「自分で注射するなんてできない」と言ってインスリン自己注射の練習が進まない。

A君への看護師の対応で最も適切なものはどれか。

1. インスリン自己注射の必要性を繰り返し説明する。
2. A君が納得するまで母親にインスリン注射をしてもらう。
3. インスリン自己注射ができるようになったら退院できると話す。
4. インスリン自己注射をしている同年代の糖尿病患者児と話す機会を作る。

105 A君と母親は、自己血糖測定とインスリン自己注射に関する手技を身につけて退院し、外来通院となった。退院後2か月、A君と母親が定期受診で来院した際、看護師がA君に生活の様子を尋ねたところ「学校では血糖測定もインスリン注射もやっているよ。給食は楽しみで好き嫌いなく食べているよ」と話した。母親は「帰宅時に時々手の震えや空腹感を訴え、血糖を測定すると60 mg/dL台のことがあり、自分で補食を選んで食べています。なぜ日によって低血糖になることがあるのでしょうか」と話している。

看護師がA君の低血糖の原因をアセスメントする際に優先して収集すべき情報はどれか。

1. インスリン自己注射に対するA君の認識
2. 学校内でインスリン自己注射を行う場所
3. 学校での運動量
4. 給食の摂取量

つぎ ぶん よ と こた  
次の文を読み 106～108 の問いに答えよ。

A さん(28 歳、初妊婦)は、夫(30 歳、会社員)と 2 人暮らし。妊娠 37 週 0 日で妊婦健康診査のため来院した。身長 160 cm、体重 62 kg(非妊時体重 54 kg)。血圧 122/74 mmHg。Hb 12.1 g/dL、Ht 36 %。尿蛋白(－)、尿糖(－)。下肢に軽度の浮腫を認める。子宮底長 32 cm、推定胎児体重 2,810 g。A さんは「1 時間に 2、3 回お腹が張ることがありますが、休んでいるとおさまります」と言う。

106 このときの A さんの状態<sup>じょうたい</sup>で正しいのはどれか。

1. 陣痛<sup>じんつう</sup>発来<sup>はつらい</sup>
2. 正常<sup>せいじょう</sup>な妊娠<sup>にんしん</sup>経過<sup>けいこ</sup>
3. 胎児<sup>たいじ</sup>発育<sup>はついく</sup>不全<sup>ふぜん</sup>(FGR)  
fetal growth restriction
4. 妊娠<sup>にんしん</sup>高血<sup>こうけつ</sup>圧<sup>あつしやう</sup>症<sup>こうぐん</sup>候群<sup>こうぐん</sup>(HDP)  
hypertensive disorders of pregnancy

107 妊婦健康診査<sup>にんぶけんこうしんさ</sup>後<sup>ご</sup>、A さんは「数日<sup>すうじつ</sup>前<sup>まえ</sup>から頻回<sup>ひんかい</sup>に尿意<sup>にょうい</sup>を感じる<sup>かん</sup>ようになり、夜間<sup>やかん</sup>もトイレへ行く<sup>い</sup>ために目<sup>め</sup>が覚<sup>さ</sup>め、よく眠<sup>ねむ</sup>れない」と看護師<sup>かんごし</sup>に訴<sup>うた</sup>えてきた。A さんに排<sup>はい</sup>尿<sup>にょう</sup>時<sup>じ</sup>痛<sup>つう</sup>および残尿感<sup>ざんにょうかん</sup>はない。

A さんへの看護師<sup>かんごし</sup>の対<sup>たい</sup>応<sup>おう</sup>で適<sup>てき</sup>切<sup>せつ</sup>なのはどれか。

1. 水分<sup>すいぶん</sup>摂<sup>せつ</sup>取<sup>しゆ</sup>を促<sup>うなが</sup>す。
2. 骨盤<sup>こつばん</sup>底<sup>てい</sup>筋<sup>きん</sup>群<sup>ぐん</sup>の運<sup>うん</sup>動<sup>どう</sup>を促<sup>うなが</sup>す。
3. 分娩<sup>ぶんべん</sup>後<sup>ご</sup>には改<sup>かい</sup>善<sup>ぜん</sup>する可<sup>か</sup>能<sup>のう</sup>性<sup>せい</sup>が高<sup>たか</sup>いと説<sup>せつ</sup>明<sup>めい</sup>する。
4. 睡眠<sup>すいみん</sup>薬<sup>やく</sup>の処<sup>しょ</sup>方<sup>ほう</sup>について医<sup>い</sup>師<sup>し</sup>に相<sup>そう</sup>談<sup>だん</sup>すると伝<sup>つた</sup>える。

108 Aさんは「初めての育児なので不安です。実家の母が手伝いに来てくれる予定ですが、夫は忙しくていつも22時ころにならないと帰ってきません」と言う。

Aさんへの看護師の対応で最も適切なのはどれか。

1. 「新生児訪問指導の時に相談してください」
2. 「夫に早く帰ってきてもらおうよう相談してください」
3. 「実母以外にも手伝ってくれる人を見つけましょう」
4. 「育児について不安に思っている内容を一緒に確認しましょう」

つぎ ぶん よ と こた  
次の文を読み 109～111 の問いに答えよ。

ざいたい しゅうよっ か せいじょうぶんべん しゅっせい じ しゅっせいたいじゅう しんちよう しゅっせい  
在胎 39 週 4 日で、正常分娩で出生した児。出生体重 3,000 g、身長 48.0 cm。出生  
ちやくご じ ふちやく ようすい と  
直後、児に付着していた羊水をふき取り、インファントラジアントウオーマーの下で  
かんざつ おこな たいおん こきょうすう ふん しんぱくすう ふん こきょうおん いじょう  
観察を行った。体温 37.5℃、呼吸数 56/分、心拍数 150/分、呼吸音は異常なし。

かん こし かんざつ お あなた ふく ちやくい どうよう あなた しんぐ  
看護師は観察を終え、温めておいたベビー服を着衣させ、同様に温めておいた寝具  
もち じゆんび じ ね  
を用いて準備をしたコットに児を寝かせた。コットは壁際や窓辺を避け、空調の排気  
こう かぜ あ ぼしよ はいち  
口からの風が当たらない場所に配置した。

109 かん こし じ たいおん ほ じ おこな よ ぼう ねつ そうしつけい  
看護師が児の体温保持のために行ったことと、それにより予防される熱の喪失経  
ろ との くみあわ ただ  
路との組合せで正しいのはどれか。

1. 羊水をふき取ったこと \_\_\_\_\_ 蒸 散
2. 観察をインファントラジアントウオーマーの下で行ったこと \_\_\_\_\_ 対 流
3. 温めたベビー服と寝具を用いたこと \_\_\_\_\_ 輻 射
4. 風が当たらない場所にコットを配置したこと \_\_\_\_\_ 伝 導

110 せいご にち じ じょうたい たいおん こきょうすう ふん しんぱくすう ふん こきょうおん  
生後 1 日。児の状態は、体温 37.0℃、呼吸数 48/分、心拍数 120/分、呼吸音は  
いじょう たいじょう しゅっせいご げんざい じょうたい あんてい ははおや ぶんべん  
異常なし。体重 2,850 g。出生後から現在までの状態は安定していた。母親も分娩  
じ ひろう かいふく さんご じょうたい あんてい ぼ じ どうしつ かいし  
時の疲労から回復し、産後の状態も安定しているため、母児同室を開始することと  
なつた。この施設では、自律授乳を行っている。

ははおや  
母親へのオリエンテーションの内容で適切なものはどれか。

1. 「新生児室へ行く時は、赤ちゃんをコットに寝かせて移動してください」
2. 「沐浴の時は、赤ちゃんのネームバンドを外しましょう」
3. 「赤ちゃんの体温は 1 時間おきに測ってください」
4. 「授乳は 3 時間ごとに行ってください」

111 生後3日。看護師が朝の観察を行った時の児の状態は、体温37.0℃、呼吸数40/分、心拍数130/分。体重2,680g。顔面と胸部の皮膚に黄染が認められる。その他の部位は淡紅色である。手関節と足関節の皮膚に落屑がある。尿は6回/日、便は2回/日で移行便である。

児の状態で生理的特徴から逸脱しているのはどれか。

1. 体温
2. 呼吸数
3. 皮膚色
4. 体重減少率
5. 皮膚の落屑

つぎ ぶん よ と こた  
次の文を読み 112～114 の問いに答えよ。

A さん(男性、26 歳、会社員)は、高校時代に自閉症スペクトラム障害の診断を受け、外来通院をしながら仕事を続けていた。これまでの職場ではストレスが少なく、規則正しい生活ができていた。しかし、1 か月前に新しい職場に異動になってから生活が不規則となり、数日前より無断欠勤が続いている。同居している家族に対して A さんは「家にいると仕事のことばかり考えてしまい眠れない。食欲もないし、環境を変えてゆっくり休みたい」と話したため、A さんは家族とともに精神科外来を受診し、休養目的で任意入院することになった。

112 看護師が入院時に聴取する情報で優先度が高いのはどれか。

1. 業務量の変化
2. 職場での人間関係
3. 最近 1 か月の生活状況
4. 無断欠勤に対する親の反応

113 入院中の A さんは、面会や検査等の予定が急に変更になると混乱し、看護師に対して予定を繰り返し確認することがあった。

このときの A さんへの看護師の対応で適切なのはどれか。

1. 文字や図を用いて説明する。
2. 確認を繰り返す理由を尋ねる。
3. 複数の情報を同時に提供する。
4. 状況を考えて行動するよう説明する。



114 入院後1か月、Aさんは十分な休養が得られた。退院後の職場復帰にあたり、Aさんから「仕事がうまくいかない、すごく混乱して落ち着かなくなってしまう。そうなった時はどうしたら良いか」と看護師に相談があった。

Aさんへの助言で適切なのはどれか。

1. 「混乱するAさんを職場の人がどう見ているか想像しましょう」
2. 「多くの人からアドバイスをもらいましょう」
3. 「混乱した原因を周囲の人に説明しましょう」
4. 「1人で落ち着ける場所に移動しましょう」

つぎ ぶん よ と こた  
次の文を読み 115～117 の問いに答えよ。

A さん(57 歳、男性)は、妻(55 歳)と長女(28 歳)の 3 人暮らし。4 年前に直腸癌と  
しんだん 診断され、手術を受けてストーマを造設した。その後、A さんは直腸癌を再発し、  
ちりょう おこな 治療を行ったが効果がなく、腹部のがん疼痛を訴えたため、疼痛をコントロールする  
もくてき じょういん 目的で入院した。主治医から A さんと家族に余命 4 か月程度と告知され、A さんは  
「痛みは取り除いてほしいが、延命治療は望まない。自宅で好きなことをして過ごし  
たい」と話している。現在、A さんはオキシコドン塩酸塩を 1 日 2 回内服し、痛みが  
なければ日常生活動作(ADL)は、ほぼ自立している。

115 A さんは退院後に訪問診療と訪問看護を利用することになり、今後の支援の方  
こうせい かくしん 向性を確認するため、退院前に A さんと家族も参加するカンファレンスを開催し  
たいいん こ ほうもんしんりょう ほうもんかんご りょう こんご しえん ほう  
た。

カンファレンスで確認する内容で最も優先度が高いのはどれか。

1. 看取りの場所
2. ストーマパウチの交換方法
3. 訪問リハビリテーションの必要性
4. 退院後の生活で A さんが行いたいこと

116 退院後、Aさんは痛みが強くなってきたため、主治医はオキシコドン塩酸塩を増量したが、Aさんは眠気が強くなり「薬を飲みたくない」と訴えた。そのため、フェンタニル貼付剤に切り替え、レスキュー薬としてフェンタニルクエン酸塩舌下錠が処方された。

訪問看護師によるAさんの家族への疼痛緩和のための薬物療法の指導で適切なものはどれか。

1. 副作用で便秘が生じた場合には貼付しない。
2. 残ったオキシコドン塩酸塩は自宅で保管する。
3. レスキュー薬は使用間隔を気にせず使用してよい。
4. フェンタニル貼付剤の交換時に家族が貼付面に触れないようにする。

117 退院後3か月。Aさんの食事や水分の摂取量は減り、徐々に傾眠傾向になってきた。Aさんの妻は訪問看護師に「少し怖いですが、できればこのまま自宅で見ていきたい」と話した。

Aさんを自宅で看取るための訪問看護師の対応で適切なものはどれか。

1. 高カロリー輸液の開始を医師と相談する。
2. Aさんの清潔ケアは看護師が行うことを妻に伝える。
3. 今後起こりうるAさんの状態の変化を妻に説明する。
4. Aさんが亡くなるまで家族がそばを離れないように伝える。

つぎ ぶん よ と こた  
次の文を読み 118～120 の問いに答えよ。

A さん(75 歳、女性)は、脂質異常症dyslipidemiaと高血圧症hypertensionで通院中で、定期受診のため、外来待合室で順番を待っていた。A さんは、待合室の雑誌を取ろうと立ち上がり、歩こうとしたところ、右足が思うように動かず引きずって歩いた。外来看護師が声をかけると、A さんは「らいじょうぶ」と返答したが、ろれつが回らなかった。

118 この時の A さんの症状はどれか。

1. 痙縮
2. 失語
3. 構音障害
4. パーキンソニズム

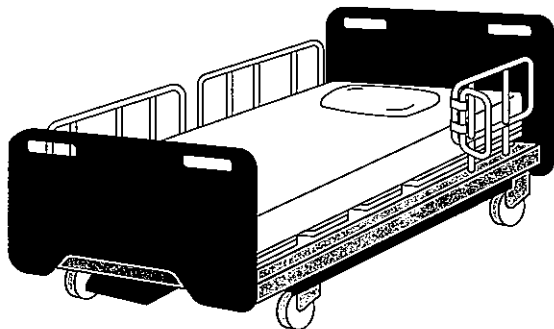
119 検査の結果、A さんは左脳の運動野に脳梗塞を発症していることが分かった。A さんは3週間の入院治療を経て転院し、2か月間のリハビリテーションを行うことになった。

転院先の医療機関に提供する情報で最も優先するのはどれか。

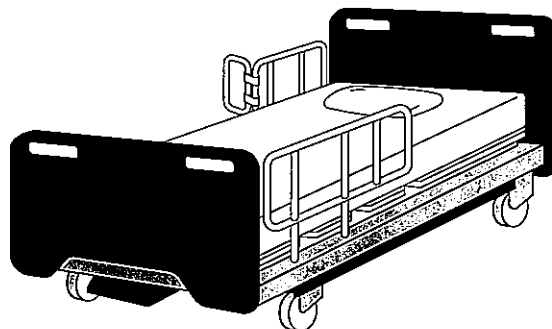
1. 診療情報提供書
2. 要介護認定の申請書
3. 医療相談員の相談記録
4. 使用中の車椅子の機種
5. 身体障害者手帳の申請書

120 Aさんは、2か月間のリハビリテーションの結果、健側をつかってベッド上で端坐位ができるようになり、補装具をつければ軽介助で歩行できる状態まで回復した。退院後はベッド柵をつけた介護用ベッドを設置し、自宅で生活をする予定である。Aさんが自宅で使用する介護用ベッドの柵の配置を図に示す。ベッド柵の配置で適切なのはどれか。

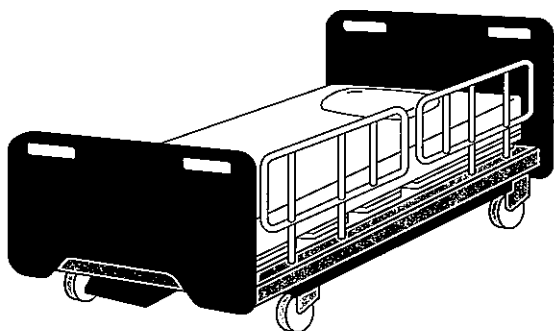
1.



2.



3.



4.

